

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分
 【発行日】平成 19 年 7 月 26 日 (2007.7.26)

【公開番号】特開 2006-85843 (P2006-85843A)
 【公開日】平成 18 年 3 月 30 日 (2006.3.30)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-013
 【出願番号】特願 2004-270403 (P2004-270403)
 【国際特許分類】

G 1 1 B 20/10 (2006.01)

G 1 1 B 20/14 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 20/10 F

G 1 1 B 20/10 3 1 1

G 1 1 B 20/14 3 5 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 6 月 11 日 (2007.6.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の記録媒体に記録されているデジタル音声データを、前記第 1 の記録媒体の通常再生速度である第 1 の速度よりも速い第 2 の速度で再生し、前記第 2 の速度に対応する高速デジタル音声信号を出力し得る再生手段と、

前記高速デジタル音声信号に対し、対応する前記第 2 の速度で所定の調整処理を施し、調整された高速デジタル音声信号を出力し得るデジタル信号処理手段と、

前記調整済みの高速デジタル音声信号を、第 2 の記録媒体に対し、前記第 2 の速度に対応する速度で記録し得る記録手段とを具備することを特徴とする記録装置。

【請求項 2】

前記デジタル信号処理手段は、前記調整処理を施すに際し、第 1 の速度で再生されるデジタル音声信号に対して施す調整処理のために使用するプログラムに代えて、前記第 2 の速度の調整処理に対応したより少ない命令ステップ数を有するプログラムを実行するものであることを特徴とする請求項 1 に記載の記録装置。

【請求項 3】

前記デジタル信号処理手段は、前記再生手段が第 1 の速度で再生を行い、出力する通常速デジタル音声信号に随伴するビット・クロックを基準信号としてデジタル信号処理動作クロックを生成する PLL 回路を備え、前記高速デジタル音声信号に対する調整処理を行うに際しては、前記デジタル信号処理動作クロックと同一周波数のデジタル信号処理動作クロックが得られるように、前記 PLL 回路における逡倍率を切り替えるものであることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の記録装置。

【請求項 4】

第 1 の記録媒体に記録されているデジタル音声データを、前記第 1 の記録媒体の通常再生速度である第 1 の速度よりも速い第 2 の速度で再生し、前記第 2 の速度に対応する高速デジタル音声信号を出力する再生工程と、

前記高速デジタル音声信号に対し、対応する前記第 2 の速度で所定の調整処理を施し、調整された高速デジタル音声信号を出力するデジタル信号処理工程と、

前記調整済みの高速デジタル音声信号を、第２の記録媒体に対し、前記第２の速度に対応する速度で記録する記録工程とを具備することを特徴とする記録方法。